

市民協働で創るまちづくり まちづくりワークショップ

◎グループ発表

「地域の人々が「つながる」ために、どのような「場」や「機会」があればよいと思いますか？」

Aグループ

地域内にカフェなどつくり、エリア内の世代・趣味・子供別に集まる場があればいい。LINEなどでのつながりがあるといい。

Bグループ

川北温泉のような温泉があり、カフェができれば雇用が生まれ、人との交流ができる。

Cグループ

私の町内にあるサイクルステーションは旧駅舎であり、地域の方や自転車の方も集まれるように、地元のお母さん方がカフェを運営している。その方には町内会で手当ても出しており、力を入れている。

Dグループ

多かった意見は、町内行事での飲み会をすること。また、防災訓練を通して一人暮らしのお年寄りの確認ができる。

Eグループ

一番を多かったのは、子供からお年寄りまで参加できるイベント。オンラインのネットワークができればいい。カフェやキャンプができればいい。趣味で集まれる同好会的なものがいい。

Fグループ

飲食を伴うサロン、軽スポーツの交流。小さなグループでネットワークを作る。

Gグループ

それぞれの年代でやっている行事を合同で行い、防災も含めるといい。町の歴史を知るイベントができればいい。

Hグループ

いろいろな年代が一緒になるのは難しいので、小さい行事を積み重ねる中で共通行事を増やしていく。

I グループ

男女関係なく、多世代で同じフィールドで会える場が大切。グラウンドゴルフやバーベキューなどをコミュニティ協議会が中心になって行う。

J グループ

公民館で居酒屋やバーができればいい。空き家をカフェなどに再生して、居酒屋などができればいい。三世代交流では農園で野菜をつかって居酒屋で食べる。

K グループ

コミュニティセンターを中心にサロンをつくり、上下の垣根がなく、中学生などと意見交換ができればいい。

L グループ

異なる年齢が集まる会を開き、子供が高齢者の話を聞くことができればいい。

M グループ

地域の中からオリンピック選手を輩出するきっかけをつくりたい。

N グループ

世代間交流を行い、行事は共同で定期的に野菜づくりなどを行いたい。公民館行事が主体になると思う。